

# 高知憲法速報

№162 2008. 6. 23  
 発行：高知憲法会議事務局  
 088-872-3406  
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

## 憲法闘争の発展をめざす全国交流集会

6月21日東京で、「憲法闘争の発展をめざす第7回全国交流集会」が開かれ、128人が参加しました。

自由法曹団の松井範明団長が主催者挨拶。共産党の笠井亮衆議院議員が国会報告。イラク派兵違憲訴訟弁護団事務局長の川口創弁護士が特別講演。全労連常任幹事の今井文夫さんが基調報告しました。主催は労働組合や民主団体で構成する憲法改悪反対共同センター。高知県からは県学習協の井上淳一さん（高知憲法会議事務局員）が参加しました。

04年6月に「九条の会」が結成され、08年4月には7039に達しています。憲法改悪反対共同センターは04年9月に結成され、08年6月には348組織になりました。全国各地でさまざまな運動が展開され、「9条改憲反対」の世論が6割に達する大きな変化を生み出してきました。この力が憲法審査会の始動を許していません。しかし、改憲派の策動、海外派兵恒久法成立への動き、大連立への動きなど情勢は油断できない状況です。

4月17日の名古屋高等裁判所判決はイラク派兵を違憲とし、平和的生存権の具体的権利性を認めた画期的な判決です。川口弁護士は高裁判決全文を読みながら、内容について詳しく説き、恒久法反対との関係についても説明しました。

学習運動、署名活動、宣伝強化、共同の拡大など今後の取り組みについて決意を固めました。

## 講演会「戦争をしない国に生きる権利を

### 求めて—名古屋高裁判決の意味について—

イラク派兵差し止め訴訟弁護団事務局長を務めた川口創弁護士の講演が7月12日に行なわれます。判決の意義と、これから私たちはどうすべきか一緒に考えましょう。判決文は要旨でなく、全文を読むことに意味があります。当日も頒布しますのでぜひご参加ください。

日時；7月12日(土)13：30からDVD「イラク戦場からの告発」上映、14：00～16：00講演・報告  
 場所；高知市永国寺町 高知女子大学・短大251号  
 講演報告者；川口創弁護士、高知原告団のメンバー  
 参加費；500円(判決文冊子代を含む資料費)  
 問い合わせ連絡先；平和資料館 草の家

## 署名集約状況 6/23現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	4,315
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		3,874
県国公		2,200
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,697
小計		70,914
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	73,094
こうち九条の会街頭署名		6,732

## こうち九条の会全県交流会に72名

第6回「九条の会」全県交流会が6月21日高知市の人権啓発センターで開かれ、県下26組織の代表52人と役員ほか合計72人が参加しました。「宗教者の立場から憲法9条を語る」と題して真宗大谷派四国教務所長の相良晴美さんが講演。「こうち九条の会」事務局長の谷脇和仁弁護士が名古屋高裁判決や恒久派兵法など最近の情勢と当面の「九条の会」の活動について基調報告。県下各地の「九条の会」から19人が発言し、活動状況や苦勞していること、当面の取り組みなどを報告し、学びあいました。会終了後、初めての懇親会も行ないました。

